

プログラム

会長講演

「看護診断の原点にかえろう」佐藤 正美（大会長 東京慈恵会医科大学）

特別講演 1

「医学における診断過程は治療過程—精神科医の立場から」（仮）

中村 敬氏（東京慈恵会医科大学附属第三病院）

特別講演 2

「NANDA-I 看護診断分類：誕生と発展」

上鶴 重美氏（看護ラボラトリー，NANDA インターナショナル 理事長）

教育講演 1

「臨床仏教師による傾聴とアセスメント」神 仁氏（臨床仏教師，臨床仏教研究所）

教育講演 2

「看護に必要な概念との向き合い方 つくる・かりる・みなおす」永田 明氏（長崎大学）

シンポジウム 1

「看護介入の有益性とは何か」

梅田 恵氏（昭和大学），田中 マキ子氏（山口県立大学），任 和子氏（京都大学）

シンポジウム 2

「有益な看護介入の実践へ向けた看護診断の取り組み」

杉浦 なおみ氏（慶應義塾大学病院），宮地 実穂子氏（旭川医科大学病院）

中野 由美子氏（聖隷浜松病院）

事例セッション 1

「心理社会的な看護診断の正確度を高めるために—鑑別診断のプロセスを体験しよう」

佐々木 真紀子氏（秋田大学）

事例セッション 2

「アセスメントから診断までの実際のプロセスを体験しよう」（仮）

本郷 久美子氏（三育学院大学）

ランチョンセミナー 1

「患者関連図をツールに思考力アップ！臨床ナースとともに看護診断と看護計画を考える」

阿部 幸恵氏（東京医科大学）

ランチョンセミナー 2

「いかに聴き、いかに支えるか ～アルツハイマー病の人との臨床における対話～」
繁田 雅弘氏（東京慈恵会医科大学）

市民公開講座

「つなぐ・つなげる闘病記—患者が主体的に生きるためのケア」
門林 道子氏（日本女子大学（人間社会学部）非常勤講師・学術研究員）